
NARUTO 平和への架け橋小説

多摩

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

NARUTO 平和への架け橋小説

【Nコード】

N3513S

【作者名】

多摩

【あらすじ】

何故か、死んでしまった彼女は全知全能の神ゼウスからある依頼を受けて本来死んでいる人物達と本来の悪役うちはマダラの代わり蒼宮列率いる組織を倒す話です。

NARUTO成り代わり第二段です！！

この話は、ご都合話になっています。

後、小説の題名少し変えました。

プロローグ（前書き）

さあ、彼女による平和への架け橋話が此処に開演です。

プロローグ

あれ、確か私は死んだ筈……

「うう、此処は何処？」

私は、何故か白い空間のような場所に居た

『起きたようだな……』

「誰!？」

私は、いきなり後ろから声が聞こえ後ろを振り向いた。

『我は、そなた達人間から言えば全知全能の神ゼウスじゃ』

私は、その言葉に驚いた。

「それで、あなたがゼウスさんで私に何か用何ですか？死んだ私に……」

私は、そうゼウスさんにそう聞いた

『我は、そなたに頼みたい事がある。』

「私に、頼みたい事？」

「一体何なんたる私に頼みたい事は？」

『そなたには、NARUTOの世界に転生して主人公うずまきナルトに成り代わりしてある人物の計画を潰して欲しいのだ!!』

「NARUTOの世界に行きナルトに成り代わりするのは分かりませんがある人物の計画でもしかして……」

『いやそなたが、思っている通りのうちはマダラでは無く蒼宮列と言う男の計画である月の眼計画を潰して欲しいのだ。』

「待つて下さい、月の眼計画は確かうちはマダラの計画の筈何故その蒼宮列と言う男がその計画を」

『それについてだが、そなたに行つて貰うのは平行世界のナルトの世界で実はその男は僕の部下が間違つて殺してしまい部下が蒼宮列に色々な能力をくれてナルトの世界の原作開始前に飛ばし初代火影の千手柱間とうちはマダラは本当は仲が良かったが蒼宮列が二人を襲い柱間はマダラを庇い死にマダラは蒼宮列から何とか逃げれたがその結果原作通りにうちは一族は上層部から危険視させられてしまったのじゃだから我はそなたに頼んだのだ。』

「分かりました、あなたの依頼を受けましょう。」

『そうか、そなたには私の依頼を聞いて貰うのだから4人だけ生き返らせてあげる事とチート能力を4つだけあげるよ蒼宮列もそれくらい能力を持っているからね』

そう、ゼウスさんは私に言った。

「分かりました、紙ありますかチート能力はそれに書いてあるのと最初に蘇らす二人の名前も書きますから」

『ふむ、ならこの紙に能力と最初に蘇らす二人の名前を書きなさい。』

私は、ゼウスさんから受け取った紙に四つの能力と最初に蘇らす二人の名前を書いてゼウスさんに渡した

『ふむ、四つの能力蘇らす二人は分かった蘇らす二人には訳を話しておくからそなたにはもうあちらの世界に行つて貰うぞ!』

ゼウスさんは、そう言い私は白い光に包まれて消えた。

次回に続く!!

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3513s/>

NARUTO 平和への架け橋小説

2011年10月7日14時14分発行